

## 地域密着型金融の取組事例について

 タイトル なると金時の収穫作業 J A 名 J A 里浦 (徳島県)

1 動機 (経緯)	J A 里浦では、食農教育の一環として、2008年より毎年、東京都中央区の小 学校に鳴門市里浦町特産のなると金時「里むすめ」の苗を提供しています。
2 概要	平成23年10月12日にJ A 里浦や徳島県東京本部職員が中央区明正小学校を訪問 し、児童が「里むすめ」を収穫する体験学習を視察しました。同校の屋上の畑(8 平方メートル)で同校の2年生(31名)が収穫作業を体験しました。
3 成果 (効果)	J A 職員からの「まわりの土を取り除いて」とコツを教わり、丁寧に掘り出して いました。「いっぱいあってうれしい。みそ汁に入れて食べたい」と児童も「里む すめ」の出来栄に満足していました。 明正小学校では、2年生の児童が毎日、順番に水やりをして育てました。
4 今後の 予定(課題)	今後も子供たちの食と農業の理解を深める取組みを継続して実施していきます。 J A 里浦では、地元をはじめ、京阪神地区でも同様の取組みを実施しています。 これらについても継続して実施していきます。

